

住民の立場に立って住民の利益になることを常に考えるようにして仕事をしている
住民の立場に立って物事を考えていきたい
住民の立場に立って物事を考えていること
住民の立場に立って物事を考えるように努力しているところ。
住民の立場に立って問題を見つめる点。
住民の立場や視点から、必要な支援を検討する
住民の力を信じ、自己解決能力を引き出すことを念頭においてかかわっているところ
住民の力を信じてパートナーシップをとるため、努力していること、「住民の生活」を中心に考えようとしているところ
住民の話をよく聞き、声を大切にしていること。
住民の話をよく傾けていること
住民の話を熱心に耳を傾け、その後の事業運営に反映していること
住民の話をききたいと心がけていること。
住民の話をよく聞くようにしていること。
住民の話を聞き、専門職として、その人に応じた個々の対応を行っているところ
住民の話を聞くことを大切にしているところ
住民の話を聞く姿勢、その後の業務への生かし方
住民ひとりひとりの声に耳を傾ける努力をする姿勢を持ち、その声を施策に反映させようと常に考えて、業務に取り組んでいること。
住民ひとりひとりの声を十分に聴いている所、どんな人でも、時間の許す限り、対応する。家庭訪問は保健師に与えられた特権で役所の窓口では言えない、ホンネが聴ける。又、行政の保健師だから、必要なだけ時間をかけられる。必要な人には必要なだけ必要最大限のサービスを提供できる。
住民ひとりひとりを大切にしていること
住民ひとり一人の気持ちや状況を大切に丁寧に対応しようとしていること
住民へのこまやかな配慮 よく話を聴くこと 相談者のもとへまめに足を運ぶこと
住民への対応(訪問、電話、問診などでの相談)時、住民の意思を尊重して、問題解決できるように助言すること。
住民への家庭訪問など、個別対応をもとに地域管理をしていること
住民への健康づくりや疾病予防のための関わりの重要性
住民への接客態度、言葉づかい等
住民への対応については個別性があり、対応の困難さについても様々であるため、決して関わった回数、件数だけでは評価して欲しくないこと
住民への対応をていねいにするよう心掛けていること。
住民への直接的な対人サービスの技術。自主的な研さんを積む努力により、情報を蓄積し業務に生かしていること
住民へ公平な対応を心がけること
住民ボランティアさんとともに事業の企画、運営をしていること。
住民や、ケースの意見を事業に反映している。
住民や、関係機関の声をもとに事業の企画、運営をしていること
住民や、他機関との情報を基に、真に必要な事業の企画・運営をしているつもりだが…
住民やケースと関わる際、相手の思いを大切に、受けとめるよう努力している
住民やケースに対して、必要な連携をとりながら対応しているところ。
住民やケースの意見を尊重し、大切にしていること
住民やその関係者の声と、医療・福祉関係者の意見を調整すること。
住民や関係機関に足をはこんでいる頻度～毎回少しずつ情報が得られる、非効率であるが、関係性が深まっている点
住民や関係機関の人たちと連携して活動していること
住民や関係者、関係機関に働きかけて、1から事業をつくっていくところ。計画、実施、評価というプロセスを踏まえて仕事に取り組んでいるところ。
住民や関係者の意見を生かせるよう努力している
住民や関係職種を考えを聴き、主体性を大切にするよう努めている。
住民や在宅介護支援センター職員、ケアマネージャーが自らの力を活かし、問題解決できるように支援していること。
住民や事業参加者の声を聞き、事業の内容を検討している
住民や職員との関わり
住民や他機関など、1つ1つの意見を大切にしていること。
住民や他職種から、保健師の役割をきちんと評価されたいとは思いますが、自分を評価してほしいとは思わない。
住民や他職種の目にふれない所で準備や調整をしていること
住民や対象者の方達の声をきき、できるだけ、それらの声を取り入れ事業を展開していること。
住民や地域と接することが多いため、そのニーズを把握していること。

住民や地域の健康向上を考え仕事をしていること。
住民や地区組織・行政組織と共働して、事業にあたっていること。
住民や地区組織とともに事業を企画し保健師として信頼される事業ができた時
住民や連携職種の声を代弁できるところ。
住民を一番に考え、対応しているところ
住民を主体に考え、わかりやすく、伝わりやすくなるよう工夫していること。業務がスムーズに行えるよう工夫していること。
住民を信頼して住民が自ら考え行動する力を育てているところ 住民を何より大切にしているところ
住民を大切にしていること
住民を大切にしながら、事業を実施していること
住民を中心に、関係機関と連携をとって援助にあたること。保健看護、医療分野の専門性を生かして地区を見る視点。優先順位を立て計画的に(ある程度)実施すること
住民を直接みているところ。
住民一人ひとりの対話を大切にしていること。
住民一人ひとりに支援するとともに、それらのニーズから、地域全体の問題として捉え対応していること
住民一人ひとりに対するサービスの質
住民一人一人が、自身の健康について意識を持ち、保健行動がとれるよう、専門的な知識を生かし、住民と関わり、事業を進めていくこと。
住民一人一人がその人らしい安定した生活を送れる様サポートしていくことを心がけていること 実際の区民の立場を考えて事業を企画するよう努めていること
住民一人一人からの訴えや希望を聞いて大切にしている
住民一人一人に丁寧にかかわろうと心がけているところ
住民一人一人の声を大事にし、問題だと思った場合いには、その改善に向け、事業の企画を試みる。(チームで仕事をすすめる大切さも！1人ですまないようにする)
住民一人一人の声を大切にしていること
住民一人一人を大切に、ていねいに仕事すること
住民一人一人を大切に、住民のために働いていること。
住民一人一人を大切に、地域としての健康ニーズを把握し、様々なサービスにもつなげていける専門職としての技術。
住民活動を通じて、地域づくりを推進しようとしている点
住民及び事業へのとりくみを懸命に行っていること
住民検診の精度向上のために、データ管理まで行っていること(統計処理)
住民個々を大切にしていること
住民参加、住民主体へと事業を運営していきたい
住民参加で事業が行えること 住民さんと一緒に歩んでいることとともに、よい方向に向かって歩きだしていること
住民自身が自分で考え実践できるように支援している様子と自主的に事業の企画・運営できている(住民参加型)様子を評価してほしい。なかなか数値で表しにくい状況であるが
住民自身のおかれている立場を原点として生命、健康に生きる権利を保障すべく働きかけていこうとするところ。
住民自身の力がつくように、努力しているところ。
住民主体、当事者主体の活動を大切にしていること
住民主体で活動しているところ
住民主体に事業に取り組んでいるところ 個別を大切にされた保健指導
住民主体の活動、ネットワーク・コーディネート機能 保健師の専門性 新しい知識、技術習得への積極性 専門外業務への対応
住民主体の事業企画を行い住民自らが、よいと感じ、継続していること
住民主体を考えて事業運営しているところ
住民主体を心がけて、住民と一緒にやっという姿勢
住民主導で事業が展開していける様に事業が取り組めるようになっていく過程。
住民情報の把握している量や、他職種との間の住民のケアに対するコーディネート(保健、福祉に関する企画調整に関すること)
住民全員に個々に応じた支援を提供するには限界があるが、必要な住民はもちろん、できる限り多くの住民に支援を提供できるよう、住民の声を大切にしていること。
住民組織(健康づくり)との連携やその活動での保健師の役割
住民組織とのかかわりがうまくいくこと
住民組織との関係を大切に事業実施していること
住民組織との連携は中々人に理解してもらえない、住民がかかり活動していくことを評価してほしい
住民組織との連絡調整に関すること
住民組織と一緒に地域づくりをする際にかかる業務量
住民組織と共に地域づくりを展開していくこと(地域を動かす)
住民組織の育成などにより、健康づくりに大いに役立ってくれていること。

住民側にとって事業企画運営しようとしているところ。
住民側に立ったサービスを考え、仕事にとりこんでいるところ
住民側に立った観点で住民の要望をとり入れようとするところ
住民側に立った保健サービスを提供している所(土、日も勤務している)
住民側の視点で事業をしているところ
住民対応
住民対応の直接業務と事務処理等の間接業務等全般的な評価
住民中心の考え方で業務をしている
十分、評価していただいているので特でない
従来どおりのやり方で満足せず、変えていこうとするエネルギー
従来の業務にしばられるのではなく独自の事業においても一定の成果が得られているもの
縦割りの行政の中で福祉と保健を兼務し、公民館という中心からの情報が得にくい中で事業の企画を行っていること。事業評価を重点をおいてやっていること。
出先での一人保健師のため、毎日の業務は、上からおりてくるという感覚がある。自分の仕事をこなすのみで評価までいっていない。いつももやもやした気持ちで業務を行っている。
出先の在宅介護支援センター(地域型)に勤務しているが上司が出先におらず、さりとて定期的にくるわけでもない不思議な位置付けにある、住民の一番身近で良く関わり状況を知り対応している点を知って欲しい、そこから、新しい事業の企画を提案している
準備、報告の必要なもの、早目しておくこと(できるだけ、仕事をためない)でも、いっぱい落としががあって、最後はバタバタになってすみません。
順調に仕事をしていること
処遇検討会など
処遇困難ケースに対して対応に苦慮しながらもなげださずに関わりをもっているところ
処遇困難ケースの対応にふり回されつつも、他機関と連携しながら、そのケースのために日々対応していること。
処遇困難ケースへの対応
処遇困難な事例にかかり地域から評価を得ていても内部(所属の他職種)からは数字で評価されるため、時間ばかりかかっているあまり評価されていない
処遇困難事例への対応
処遇困難事例等に対し、専門職としての役割を果たし、新規事業等、行政の施策に結びついたこと。初めて行う本格的な事務(補助金や予算等)またそれともなう提出書類の時期が重複することが多いが、上司や同僚に相談したり、他課と調整を行ってPHNや事務の仕事をしていること
所内で考察することも重要だができるだけ訪問等地区に出て行くよう心がけている
書類や資料を適切に管理していること。事業の内容等を文書化して、次につなげ易いようにしていること。
将来に視野を広げ、健全な母子育成に1つの専門職としてたずさわっていること
将来的な展望をもって前向きに取り組もうとするところ
将来展望に立った、仕事はできていないので評価される部分は少ないと思う
小さい地域である特性を生かし、住民の声を大切にし、反応させようとしていること
小さなこだわり
小規模市町村なので比較的きめこまかく住民に対応できること。(乳幼児であれば子と親の顔と名前がほぼ一致します)
少しずつですが仕事に慣れてきている所です。
少しでも住民のニーズにそった事業を企画、運営し、評価として住民が生き生きと生活しているな—とってもらえること
少ない人員の中でたくさんの業務をこなしていること
少ない人数の中で、多大な業務を行っていることを理解して欲しい。
少子化で母子保健の対象が少なくて前にもかかわらず健診者数や出席件数が少ない事が、実績がないと評価されるのには反発を感じる
少人数でも、小さな効果でも実施した事業や声かけ1つが住民に反応した時
少数事例(特に母子)への支援について
昭和57年より自主的に地域の育児相談事業を開始し、継続的に多面的に行ってきた事。
笑顔があること
障害の特性を考えた相談業務
障害児の通所施設では専門職の仕事より大半の職種で占める保育士の仕事を同じように行い余力の部分で保健師の仕事をしてほしいとの要望が強かったので医師不在の施設では1. 本人の健康状態を早めに察知し母に教えていく視点 2. こどもが喜ぶことをするのではなく、健康の視点で、やるべきこと、してはいけないことの限界を指摘すること 3. 感染予防、事故防止のため前もって備えておくことの必要性 4. 医療保健・施設(学校 療育園)との連携
上の方に評価してもらうことがあまりない。
上記例ももちろんですが、事例を通して、私たちがかわかりが全然効率のわるいものでなく、その人にとって、よい方向にもたらせたという点を評価してもらいたい!
上司、雇用者からどう評価されたいか?というのでしょうか? 看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
上司とスタッフ(一般職)の調整に努めている
上司は家庭訪問の件数を、訪問事業評価の時に重きをおいているが、それだけでなく、質的な面(困難事例への対応は、他機関との連携にかなりの時間や労力を費やすが、目にみえにくい部分がある)も評価してもらいたい。
上司は数字に現れる部分でしか評価しない傾向有り、そうでない部分を評価して欲しい。
上司等からは専門職としての仕事は評価されているが、以外の仕事がとても多くなっている
常に、業務の中に、住民の思いや必要性などを取り入れ、推進している部分を評価してもらいたいと思っている。ただ、目にみえない部分をどうあらわしていくかが、大きな課題でもあるが、目標を持ち実践し次につなげて行くことを大切にしていきたいと思っています。

常に公平に住民のためになるように動いていること
常に市民の立場になって、事業を考えているところ
常に市民の立場に立ってサービスを提供することを心がけていること
常に時代の流れを予測しこれから必要となることのアンテナを高くし自己研修に励み、全てが人間関係が一番土台であるため職場内はもちろん住民とのコミュニケーションを大切に、そこから得たものを政策化すること
常に住民のニーズを考えながら仕事をしていること
常に住民の声に耳を傾けている所。
常に住民の声を大切に、どの事業もその声を反映できる様に関わっている。
常に住民の側に立って、相談等に応じるようにしている
常に住民の立場で、他機関ともうまく連携をとりながら対応していること
常に住民の立場にたって活動しているところ
常に住民の立場に立って仕事をしていること
常に専門職の視点で仕事をしているところ。事務的に仕事をしているのではないところ。
常に対象、状況から学ぼうとする姿勢を大切にしているところ。
常に地域の住民の声を大切に、住民が自らの健康意識を高めていけるような事業等の企画、運営を行っていること
常に地域住民主体の活動、ヘルスプロモーションということを考えながら住民と話をしていること(なかなかうまくできないが)
常に地区住民と密に接し相談業務にあたっている 特に精神障害者の心のケア相談にあたり、自立支援(ホーム・ヘルプ等)援助にむけている
常に勉強して、新しい情報に基づき仕事をしようとしていること。
常に保健師として何をすべきかを考えているところ
常時、仕事量はいっぱい、いっぱい、特にその日のうちに終わらせなければならない内容が殆んどであり、時間との戦いです。保健師としての知識を生かしていくことは後まわしになっていく日々です。そういった中で優先順位をつけながら何とか、とどこおりに、事業を動かさなければならないのは、負担ではありますが、常時、保健師の目標をモットーに向かっているのは、自分らしさだと思っています
常時、人員不足の状態の中で、事業を行っている点
情報などをある程度もち、自分の考えをもち仕事をしているところ
情報を生かす能力 かわった事例の変化
委託職員として与えられた仕事はきちんと行なっている事。
職員から業務を評価してほしい。同じ保健師間でも理解しあいたい 自分の仕事を発信するよう心がけている
職員が働きやすい職場環境になる為、日々努力していること 職員の健康増進(特にメンタルヘルス)の支援をしていること。
職員が同じ視点で一緒に仕事をやろうとする気持ちももっているところ
職員にタイムリーな情報を届けること。継年データを生かした支援ができること。職員を管理監督する上司との連携
職員の意欲を失わせないようにしているところ。
職員の健康管理と体制を構築するために必要な施策を企画、提案していること 他の課や機関との調整を積極的に行っていること
職員の健康管理は個々に働きかけ、生活改善をはかる援助をすることが大切だと思うが、事業の企画、実施のみに終わってしまう傾向がある
職員の健康度を向上させる(特にメンタル面)ために事業の企画をしたり所属長との連携をはかっていること
職種に専門性があるということ
職種の評価するのは難しいと思う。もう少し住民が私たちが関わることでどう変化したか、どう感じたかということを知り、その上で自分の仕事を評価して欲しい。
職場のスタッフがのびのびと働いていること
職場の仕事において、負荷がかかっている所があればなるべく共に動くよう心がけていることくらい
職場の人間関係、調和を大切にしながら、チームで協力して課題にとりくんでいること。
職場の中では他職種の中での一人職種だが、専門職として支援センターの園児およびセンターを利用しての母子に、必要に応じて関わり、他職種と連携を深めながら、よりよくなるように対応している
職場環境や、条件、予算等もない中で、新規事業をトップダウンで実施していき、尚既存の事業もやってく状況が続いている。人員も減少していく中で、「手、足」のみを期待され働き、トップが具体的に「頭脳」としての役割を果さず、新規事業の実施方法(研修予算なし)を何とか実施している状況の評価してほしいと思う。(保健師が要求する人員の預りもなし)
職場組織の運営
職場内の職員が一致協力して、業務を行う環境、皆が、意見を出しやすい環境づくり。
職務内容が幅広いこと
色々な種類の仕事を同時にしていること。
色々な地域活動を通じて住民の情報を得て、住民の声を大切にした保健活動をしていること
寝たきり、介護予防の観点から、地域へ出向き、住民と共に住民主体の活動を立ち上げ、育成していること 若い世代の喫煙予防の目的で、学校保健へ積極的に働きかけ活動していること。
心をこめて相談にあたっていること。
心理業務を工夫しています。
新しい企画を考えて実行していくのもよいが、PHNの基本的な仕事、H. V. 相談などコツコツしているのも評価してほしい
新しい資格を取得し、新しい事業を始められていることについて
新しい事業に取り組んだり、事業の改善を行ったりするところ

新しい事業の企画と意欲
新しい事業を企画・運営していくためには保健師がもつ問題意識や改善したいという熱意が必要ですが、それだけではなく事務職を納得させる根拠や、資料の提示(プレゼンテーション等)し、関係課との調整をとれること
新しい手法などを勉強し積極的にとり入れていること。
新しい体制を作っていくところなので、まだ充分には活動できていないが、課内や、市役所内、他機関やケースの状況などについて把握しながら、バランスを考え、体制づくりをしていくことがとても大変です
新しい知識・技術を習得し、住民サービスへとつなげていくこと
新しい知識をとり入れて、住民のニーズにあった事業を行っているところ。地域を見る視点や、住民の声を大切にして、既存の事業を変えていったり、新しい事業を考えたりと、ニーズにあったものにしていこうという所
新しい発想や、根拠を図式化して表現するところ
新しい分野の業務ということもあり、自分自身介護の理解と対応に追われる状況です。保健師として、ここで何ができるのか、摸索しながらやっています。苦情や相談の対応は、まかせられることが多く面接技術は、評価されているようです。
新しい分野等への学習など、自分で能力向上へむけての努力はしていること。
新しく移管された精神福祉業務を根拠に基づいてすすめているところ
新しく訪問看護ステーションを立ち上げ地域に根付いてきたこと。実績もあがり関係機関からも良い評価を受けつつあること
新たな課題に前向きに取り組む姿勢
新たな分野での取りくみ。
新規の目立つ業務についている人々が評価されがち。地味でも毎日創意工夫し、スタッフ間で仕事のしやすさを考え、実行しているところ。
新規事業の企画、運営
新規事業の導入し専門職として他機関の連携や協力を得ながら遂行し住民から評価されたこと
新規事業や、目立った事業への評価ではなく、日々行なっている業務についても注目してほしい、長期的で、地道な活動であることを念頭に入れて、サポートしてもらいたい、保健師業務は地中に根をはる仕事であると私は思っています
新規事業や慣れない業務についても、前向きで意欲的に取り組み、できる限り、他職種の方からの好印象を得ようと努力していること。
新規事業や継続事業の中に専門職としての観点が反映されていること。
新規事業を複数担当しながら、運営していること
新人として、何とか業務をこなしていること
新人職員や関係職種に対する教育指導能力(研修の開催、個人教育プログラム カンファレンス、伝達する資料の内容)
新人職員及びスタッフを育てていること。(当たり前とはいえ、なかなか難しいです)
新生児訪問について、いろいろな不安や心配事をきいてあげて母の気持ちを楽にしてあげている所
新設部署にて明確な保健師の役割は未確立ながら多種情報の集積、伝達におけるKeyとしての機能
申請の窓口はイコール相談の窓口であることが多く、(多様-他種)機関の知識が必要であること
申請受付や様々な届出処理などの住民との接点を大切にしていること
真面目に頑張っていること
真面目に勤務しているところ。
真面目に取り組む姿勢。
真面目に対応できるところ
真面目に丁寧に住民に訪問看護を提供しているところ、地道に努力し続けていること
親身になって相談者に接していること
身近な相談相手として住民に関わり、健康面を中心に生活全体をみていけること
身体面(医学的な知識)だけでなく、社会面心理面を総合的にみて、対応するところ。(ケガや病気のことばかり求められるため)
人(住民等)に何かを伝えようとする時(健康教育・相談の場)は、正しい情報が伝えられるように、新しいデータや資料も自分の中で整理しようとしていること。なるべく曖昧に終わらせないようにしている。
人、仕事に流石に向きあい、対応していること
人が相手の仕事なので相手の考え、訴えを大切に傾聴するようにしている 時間を有効的に利用するよう心がけている
人づくりは結果として表れにくい、ゆっくり時間をかけながらも育成に手がけていること。
人とのつながりを大切にしケースワーク重視しているところ
人に何かを伝える時できるだけわかりやすいよう工夫しているところ
人に評価してほしいと思うことはない
人の健康や家族機能をよりレベルアップさせるのに、目には見えない、はかりきれない力が必要。お金や数としてあがってこないものに対応しての組織全体の中での評価
人は、人と人との間の評価の中で、生きていくと思うが、評価に一喜一憂したり、評価を求めたりせず、自分なりの理念をもっていこうと思っているので、特に、評価してほしい部分は、改めて考えても思いつかない。
人員減であるが事業を継続しているところ
人員配置数が少く、業務量の多い中で、複数の困難ケースに対して、地道に保健活動を展開していること
人員配置数が不十分な職場で、事務専門の業務と現場を両立させて、なんとか事業をこなしていることを評価してほしい
人員不足で余裕のない中でも対象(住民)のひとりひとりに丁寧に接するよう心がけていること
人員不足と業務多忙で本来の"生の住民の声"に会う機会が減っている、専門性を生かした仕事をしたい
人員不足の中で日々努力しているところ

人間関係
人間関係のスムーズな流れを意識しながら、うまく、人的資源を活用していくことや、対外的な、関係をうまく作っていくことで、業者さんの協力を得ながら、事業を大成していこうとしているところ。
人間関係を大切に仕事をしているところ 責任をもって仕事をしているところ
人権を尊重した住民への対応
人口1万8千人の受け持ち地域のほかに、日常のセンター業務もあり、四苦八苦している、困難ケースにじっくりかかわる余裕がもつほしい
人口が少ない村なので個別の相談に応じられるよう少ない資源(施設、人的)を最大限に利用し、連絡がすぐとれて早く支援できる、共通の課題があれば施策化しやすいが、今年4月から合併になるので、施策化がむずかしくなると思われる
人材育成、住民組織作り
人材育成、保健事業の推進
人数や効率ばかりで判断しない。?
人生経験と長年の地域とのかかわりの中で得た物を環元すべく ケースの立場で共に考え支援していく姿勢で常に活動をすすめている
人脈をつくるなどの事業が行いやすく、結果的に住民のためとなるコミュニケーション信頼関係づくりを常に行っていること
迅速な対応と現場での判断能力
数・量的なものだけでなく、質的な部分で活動や業務を評価してもらいたい。
数だけでなく効果
数だけでなく質や中味、内容等も評価してもらいたい。
数だけではない業務の意義、効果、必要性
数だけでは評価できずらい地域活動
数での評価ではなく質の評価、一般の人向けの事業ばかり評価されているので保健や予防の視点で実施している事業についての専門性を認めてほしい
数での評価ではなく質の評価、一般の人向けの事業ばかり評価されているので保健や予防の視点で実施している事業についての専門性を認めてほしい
数ではあわせないことが多いこと
数ではなく内容で、評価してほしい。事例によっては、とても時間と手間、気がかかる
数ではなく内容の質で評価してほしい。いつも上司の評価基準が目に見える数での判断のため。
数では出てこない部分 1. 看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。2. 地域を見る観点から、統計処理はもちろん住民の声を大切にしていること。
数では表せないところ、相談一件数の多さだけでなく、保健師自身の持っている専門職としての情報を提供できているかや、住民の声を聞けるのに最前線にいるところ
数では表せないことを評価してほしい 個別(ケース)対応をいねいにしている部分
数では表せない住民の満足度
数で表現しにくい仕事の質
数で評価することが多い。ケースの内容かかわり方コーディネイトの実態を知っていただき、仕事の評価してほしい
数としての実績だけでなく、他のところも評価の対象としてほしい。
数としての量的な面をみるのではなく、住民からの相談への対応などではそのプロセスに、とても、力や時間を注いでいることなど、質的な面の評価をして欲しいです
数としては計上しにくい部分の仕事に対しても評価してほしい(訪問や事業の数のみでなく、連携の部分や地区組織活動、事業評価に関する仕事etcも評価して欲しい)
数としては評価できない仕事をしていること 法律制度等をあてはめるのではなく個人の力量が問われる仕事であること(相談業務)
数として大きなものや、目に見える変化が出ずらくても、住民の声を大切にしながら事業運営していること
数など見えない見えにくいそんな仕事内容を日々していること。どうする、こうする、これが課題のハッキリしないでも支援が必要なひと、家族をテーマにしているダイナミクスなところ
数には挙がらないこと、信頼度etc
数には上げられないが、確実に住民の方が健康向上の為に力をつけていること
数には表わし難い、地道な地域保健活動
数に表せない部分—そこをどう伝えるかがこの職種/長年のテーマなんだろうが…
数のみの評価ではなく、市民の声なども評価してほしい
数や量で表わしにくい、住民との関わりから得た事業の企画や運営
数字(実績)には現われない現場の苦労
数字・統計として、あがらない部分の膨大な仕事
数字だけでなく事業の質的な評価
数字だけでなく住民の反応の良さも評価に入れてほしい 主観で判断もいいのではないかと
数字だけではあわすことのできない、メンタル的な作業の多さを理解してほしい。住民とのやりとりには時間がかかること、それを事業に繁榮させてはいるつもりだが評価されない
数字だけでは出ない専門職としての質的な部分での評価
数字だけで評価するのではなく、経過等も含めて評価していただければと思う
数字であらわせられないところ
数字では表すことのできない、住民の満足度や達成度かかわりをもつことによって変化してきた内容など
数字では表せない、対応した住民1人1人のその後の満足度etc

数字では明らかにあらわれないこと。電話相談の時間の長さや、各機関の調整についてやす時間も考慮して、専門的知識を生かした相談能力を評価してほしい
数字で表せない部分の活動についてを評価して欲しい
数字で表せない部分や対人サービスでの地味な活動
数字で表現できる業務ばかりでないので、かかった個々の住民のニーズをみたく活動ができているかを評価して欲しい
数字としてあらわれにくい保健活動全般
数字としての実績で評価するのではなく住民との関わりそこから得た情報を基に事業の企画・運営していること
数字として結果の出ない重要な業務を行っていること
数字として表われるところだけではない 住民一人一人への個別に応じた関わりをしているところ。
数字には、現れにくい介護予防の仕事
数字にはあらわれない業務たとえ、1件でも時間的、体力的に大変な仕事もあります
数字に現れにくい対人サービス職であること。ex、電話相談は5分でも30分でも1件は1件
数字やデータとして表れない業務
数字や結果としてあらわれにくい日々の相談個別対応をしていること。
数値的に大きな変化はみられなくても、住民の心にひびく活動をしていること
数値的評価が困難な事業も評価してほしい
数字等で表われない部分、人のかかわり、マネージメントなど
数々の相談や訪問の中から援助の必要な対象を発見し、他機関との連携をはかるうとしている点
数多くの事業に携わる他かなりの事務量を兼ねて行っているところ
数値、あるいは結果としてでてくるまでの表にはあらわれてこない過程を評価して欲しい
数値、結果より過程の評価もしてほしい
数値だけでなく、活動全体を評価してほしい
数値だけではなく評価をどうするか。評価してもらいたい部分だが、どう報告すればそれが伝わるのか模索している
数値だけではなく評価をどうするか。評価してもらいたい部分だが、どう報告すればそれが伝わるのか模索している
数値では表れにくいところ(心理面、精神面etc)
数値で表せる結果だけを見るのではなく、看護職として住民と関り、目にみえにくい精神的な部分の変化等質的な部分の評価
数値で表わせない内容や業務があるが、その表わせない点も目を向けて欲しい
数値として成果はあらわれない部分のケースワークや事業への取り組みの中身。(質問が漠然としていて、ちょっと、答えるのが難しいです)
数値として表れにくい結果や、仕事の質(量ではなく)の評価をしてほしい
数値などのデータで出てこない部分や、結果が出てくるまでに時間を要することについて理解をしてもらいたい
数値にあらわれない、予防的側面 例、育児不安の母、家族への支援 精神疾患をもつ母、家族への支援 数値に出ないが業務としては、かなりの労力をつかう
数値のみでなく内容(ケースにとってどうであったか)
数値ばかりで評価せず、活動内容に目を向けてほしい、メンタル面での支援の多さや重さが大きくなっているにも関わらず、そういった活動に対する部分は軽視されている様な気がする
数値や量など目で見てわかる評価はあまり出てこない分野ですので、住民と関わる中で、住民の声を大切にしている。住民が保健師さん…と声をかけやすいようにすること
数値化しにくい業務内容と思うので、結果だけではなく、過程を評価してもらいたい
数値的なものだけでなく、利用者の満足度や従事スタッフの仕事のしやすさ、経年的にみた評価の視点でみてほしい。
数値的な評価だけでなく、専門職として数値化されない業務も評価してほしい。看護や医療の知識を生かした専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること。
数値的に評価することが困難な点
数値評価として著れない個への対応
数値評価として著れない個への対応
数値的に評価しにくい、保健福祉部門での保健師の業務
数値ではなく質的变化。事業における参加数ではなく住民の意識の変化など
数値で評価できない保健指導
世の中から忘れられがちな人に目を向けていること。常に、新しい知識、技術と長い人生経験が必要なこと。
制度が整えられているようでも日常生活においては必ず制度にのらない課題がみえてくる。じっくり生活を見て何が課題なのか先手をうって解決の道をさがすことを考えること。
制度の活用の一手段としてのかかわりではなく、その人が自立した生活をおくれるようにするための援助の第一歩でのかかりとしてとらえて欲しい
制度の全般を知る者として、住民への説明や、理解を深めてもらえるようつとめている。また、住民とサービス提供者との間に入り、連携につとめている。
成果が出にくく評価しにくい仕事と思う
成果としては目に見えないかもしれないが、1人1人の住民と密に関わっていること。
成果のするような仕事をしていないので、評価してもらうのは難かしいと思う。住民のために、地域づくりのために、少しでもいい保健活動をしたいという気持ちの評価かな?
成果のするような仕事をしていないので、評価してもらうのは難かしいと思う。住民のために、地域づくりのために、少しでもいい保健活動をしたいという気持ちの評価かな?

成果の見えにくい業務のため、住民との対応の経過など(を見守りつつ)結果のみを求めずに見てほしい
成果は数字で現れ難いが住民1人1人を大切にしていること
正確さ誠意ある対応
正確にかつ、相手の気持ちを考えて行っている姿勢
正直なところ評価して欲しいと思われる所は全くなし
正直な所、ルーチン業務をこなすだけで手いっぱい、評価して欲しいことがみつきりません
正直まだ自分で企画している仕事はあまりない 与えられることをこなすことで手いっぱいである 特別評価してほしいところはないが1つ1つの業務に責任をもちたいという思いはある
正当な評価(業務が忙しいのに必要な人員、予算が配置、配分されない現状、業務だけが増えている)
生から死まで、一貫した流れが、できると良いなあ。と思っています。ただし、管理ではなく、支援として。
生活に根ざした一番身近な専門職であること。ほとんどが公務員のため、マスコミや一般人に注目されることが少ないが、地道に活動していること。
生活の場である地域にいる専門職であり即時的に動ける所。地域を健康(予防)の視点で見えて動ける所
生活支援、地域生活の視点から取り組んでいるところ
生活実態をとらえて適確にニーズをとらえられること。又、必要に応じて、コーディネートできること。
生活者の身近な専門職として、住民や地域の健康づくりにとり組み、それが地域づくりにつながっていること。
生活者の立場から支援の内容、体制について調整を図ること。
生活全体をみながら健康度を高める様に援助する
精神疾患をもつ患者さんの病状悪化予防のための早期介入…
精神疾患を有する人に対し、個別的な関わりが中心で、フォローを多く必要とすること
精神障害者がまちで、快適にくらしていけるようめざすことは、だれにとってもすみよいまちをつくることであり、市民の健康問題や社会的な問題をとく、きっかけが障害者への支援活動の中にあると考えて精神保健福祉の仕事をしていること
精神障害者の社会復帰から一般の心の相談、訪問以外にも事務的な申請に関する事務、情報管理、ケアマネージメント等在宅サービスにかかる調査、調整、サービスの導入、統計調査等業務が莫大になっているが個々のケースには細い対応が必要でまじめに取り組もうとすればするほど忙しく処理が非常に困難になる
精神障害者や障害を疑がわれる未治療のケースと関わる事が多く、心身ともに疲労している、恐怖や危険を感じる事もある。これらの事が、保健師だから当然という見方をされている、保健師も人間であることをわかって欲しい
精神保健福祉、福祉分野で専門職として、事務職と連携し、住民の立場に立ったかかわりをしようところがけていること。家族をひとつの単位としてかかわれるように気をつけていること
精神保健福祉センターという専門的の中核機関の相談援助課長を保健師が担当しているのは、大きな意義がある。特に14年法定事業、救急情報センター開設等、本庁課業務が移管されてからは、専門職を生かした形での企画・運営ができる。
精神保健福祉に、看護や医療の視点も加え、広い視野で事業の企画・運営を行っていること。型にはまらず、新しい事や難しい事もとりあえず取り組む努力をしていること。
精神保健福祉に関する個別の事例を1例ずつきちんと対応していること
精神保健福祉を担当しています。人の「こころ」の部分に触れる仕事なのでいろいろと教わることの多い毎日です。…が、人のこころは測ることもできないし、客観的に見ることも難しく、同じ名前の病名でも100人で100通りです。いくら知識や技術があっても、対応しづらい部分です。そういう難しく、こちら側もストレスが高い仕事をしているということを知っていただけたらと思います。一歩まちがえた対応をすると、「こころ」を傷つけてしまったり不信感を抱かせやすい方たち相手なので…
精神保健福祉業務が県から市町村委譲されて2年目であるが、予算の獲得がむずかしく、福祉サービスにも限界がある
精神保健福祉業務で保健所に配属されているが、精神保健福祉全般に関係することや個々の事例の関わりなどで、関係機関との連携調整を行っているが、公的立場として、できる役割を、常に意識し、業務をすすめている
精神保健福祉相談員として、日々の業務の中で各人各様の諸問題が出現するが、本人は困っているが法律上該当しない現場で困っている。自分なりに関係機関と連携後、問題を解決しても、事務職の上司は理解が充分に出きない(問題解決してあたりまえと言う感じの人が多い)
精神保健福祉相談員の仕事をしていますが相手との関わり方等に関する仕事への取り組み方等について住民の声を大切にしながら仕事をすすめている所など
声を上げにくい高齢者や障害者の気持ち(要望)を、大切にしていること、それを地域でどのように活かせるかを考え、連携をとっている
声を発することができない市民と関わり支援していること。多くの職域と連携をもち全ライフサイクルを対象としてコーディネートしていること。
誠実にコツコツと仕事をしていること。
誠実に住民と向き合うこと。
誠実に接するよう努力していること。
積極性
積極的な姿勢
積極的に自分で考えたことを発言し、行動していること。行政では、何も言わずに言われたことをやっている人の方が評価されているように感じる。
積極的に住民と関わろうとする姿勢を持つよう努力している点
積極的に住民に声をかけ、外に出ていくよう努力していること
積極的に情報収集を行い、会議での事業企画を提案していること
責任をもって対応しているところ
責任を持ってやりとげようとしているところ
責任を持って最後までやりとげること
責任感をもって取り組んでいること。住民の声を大切にし、一人一人との信頼を失わないよう努めている。
接した相手と目的を同じところにしようとしているところ。仕事へのやる気。結果だけではなく経過を。
接する相手の気持ちを受け取め対応しているところ
折にふれて可能な場合は、住民に対して自分がかかっている限りの福祉サービスの情報提供、保健情報の提供、健康教育につながるような働きかけを心がけていること
まずは評価に値する仕事ができているかどうかを評価してもらいたい
先の見通しを持って支援するよう計画すること。



専門の知識を持った行政職として住民と関わり、住民の相談や問題解決、健康づくりのための身近な機関となっていること。
専門の知識を生かした専門職としての住民との関わりと事務職と専門職との問題をみる視点の相違。
専門を活かした業務の割合を増やしてほしい。
専門外の経験したことのない業務を少ない人数で実施しているところ
専門外の情報・統計関係を主に関わっているため、知識習得のため努力していること。
専門職(経験や知識を生かした)としての住民との関わり。住民のニーズがあれば(それが、必要なことと感じた場合)それに対応するために努力を注ぐところ。(しかし地味すぎてなかなか認められない。)
専門職、行政マンとして、両方の視点で住民サービスを提供していること。
専門職から管理職になることの大へんさ。(事務職の業務内容は初心者である為)
専門職が行っている事業の質に適正な評価をしてほしい。
専門職が従事すべき事業を実施しているか否かという点
専門職でありながら事務職も兼任している業務の中で現場活動中心の業務のみでなく事務関係、新規事業等の企画立案等も含めて考慮してほしい 地域での健康教育等を実施する中で住民の声も大切に考慮しながら事業を進めていること
専門職であるが中には自立へ支援、介護予防と技術のみでなく住民とのかかわりの中で育っていく(両者)こと
専門職であるけれど、行政職として必要不可欠な知識を得ようと心がけていること。
専門職であること
専門職であること。専門性への理解(職場内で)がまだまだ低い。
専門職であるという気持ちは持っていますが、その前に自治体の職員であることは常に念頭において仕事をしているつもりです。そのうえで保健師としての仕事の専門性を出していると思っています。しかし専門性という言葉自体があいまいですが
専門職であると同時に、行政職として、住民の視点に立ち、住民をまき込んで事業の計画立案、実践、評価をしていること。
専門職であると同時に行政職でもあることから、その知識や活動の幅から、様々な機関と連携をとりやすく、様々な視点から援助の目を向けられること
専門職ではあるが他職種や住民とも相談しながら、協調性をもって仕事をしていること
専門職という意識をもって、予防的視点に立つて仕事をするよう努めていることと住民が「生きてきて良かった」と人生最期に思えるような生き方ができるよう、その人なりのQOL、思いを大切にしていること。
専門職として 自分自身のレベルアップのためだけでなく、全体のレベルアップに努めている
専門職として 住民の個別の立ち場を考え関わる様心掛けている
専門職として 住民個人との関わりを大切にしながら集団へのアプローチの方法を考え事業を展開していること
専門職として、ケースワークを大切にしているところ
専門職として、どのように住民とかわかっているか。
専門職として、もっと成長したいと思い、色々な経験を積んでいること。
専門職として、関わっている、個人、地域、事業に適切に対応できたかどうか。
専門職として、業務に対応しているところ
専門職として、業務を総括的な見地から関わり、住民サービスを適切な方向づけが出来、それに対する事業の企画・運営・実践していること
専門職として、業務処理のみに終わるのではなく、評価や研修、学習の時間を取り入れようと努力していること
専門職として、個への対応をするだけでなく、そこから得たものを政策や事業の運営に生かしていくこと 求められたことに対しては、必ず対応すること、いつでも対応できる様、資料等を整備していること
専門職として、個別、集団事業を行う上で、マネージメントをしていること
専門職として、行政の中で、事務職他の機関と連携して事業を実施していること。
専門職として、今何が必要かを見きわめ、事業の企画、運営にあたっているところ
専門職として、事業の企画・運営をしていること。
専門職として、事業や個人(住民)との関わり
専門職として、事業を企画・運営していること
専門職として、時には個別に、時には集団で住民と関わり、地域全体が、健康で、いきいきとなるよう活動(事業の企画、運営、相談…)しているところ
専門職として、住民との関わりの中から得た情報を基にして、事業の企画運営など事業だてをしていること。
専門職として、住民と関わっていること
専門職として、住民と関わり、そこから事業を展開していること
専門職として、住民と関わり、住民に必要なことを助言し、支援していること、一緒に考えていけること
専門職として、住民と関わり、住民に必要なことを助言し、支援していること、一緒に考えていけること
専門職として、住民と関わり、住民の声や生活環境等の現状を基に事業の計画や運営をしていること。
専門職として、住民と関わり、住民の声を大切にしていること 多職種、多機関と連携しながら事業の運営、企画をしていること
専門職として、住民と関わり、対応していること
専門職として、住民と関わりながら一生けんめいに実施しているところ
専門職として、住民と関わり対応していること
専門職として、住民と関わることは、もちろんのこと、一生活者(住民)であることの視点も大切にしながら、住民と接していること
専門職として、住民にとって一番身近なところで保健サービスを提供しているところ。

専門職として、住民のニーズを求たす活動を行っていること
専門職として、住民の個々の問題解決を、地域ぐるみの活動にもっていけるようにしているところ。(実際には、なかなかできていない)
専門職として、住民の声を大切にしていることと、住民の実態把握の上で、事業計画を作成している。
専門職として、住民の立場に立ち、行政のタテ割りのへい害を取り除く役割
専門職として、住民の立場に立って支援しようとするが、対人関係のむずかしさを痛感している。常に緊張し、言葉を選び対応している精神面を理解して欲しい。
専門職として、住民への様々な保健サービスを提供したり、個別対応をしていることを市役所の中で理解し評価してほしい
専門職として、住民主体型の活動を実施することを大切にしていること。
専門職として、住民全体(生活、健康問題など)を把握できているかとなると自信がなく保健師として、知識と知識をつなぎ合せ、市の問題をしっかりとと言えるようになりたいが、力量不足と反省している。
専門職として、処遇困難事例への相談対応や関係機関との連絡調整等を行っていること。
専門職として、常に住民の声を意識しながら、事業を運営していること。
専門職として、職員の健康管理、健康確保へのさまざまな企画、運営にたずさわっていること
専門職として、相談業務に関わっていること
専門職として、対住民に接する所 部下と共同で仕事をする
専門職として、地域の住民とどのように関わり、全体の仕事をどのようにマネージメントしているか
専門職として、地域の人々の健康面のみならず、生活全般に渡る支援を行っていること
専門職として、地域の特性や住民のニーズにタイムリーに対応できる立場にあること。
専門職として、地域や住民に対しかわりを持っていくことについて。
専門職として、地域実態から施策化しているところ、また日常業務として、すべての業務を計画、実施、評価して整理しているところ等
専門職として、地域住民と関わり、健康の維持、増進にかかわっていること
専門職として、地域住民に一番身近な所で活動していること。
専門職として、保健事業を行っているところ。
専門職として、母子～老人保健業務に対し、少人数で対応し、住民のニーズに応えようとしていること
専門職として、要支援者にサービス等提供でき、生活環境が向上した時(小さなつみ重ねですけど)そこから、地域に何が必要か検討していきたい
専門職としていつも住民のニーズに耳を傾けているところ
専門職としてうごいている所、住民の声に耳を傾け、うごいている所
専門職としてかかわった結果、その対象がどのような変化があったか
専門職としてかかわった事業の成果に関する評価(企画、運営、実施全般に渡って)
専門職としてケースと関わり、他職種と連携を重視しているが、そのことを行う上での努力。
専門職としてケースワークをしていること。
専門職としてスキルアップにつとめそれを住民サービスや業務に還元しようとしているところ
専門職としてだけでなく、一般の事務処理も事務屋さんと同様に行える能力があること。収集した情報を合理的・客観的に促え、関連機関等に対する調整能力に付けていること。
専門職としてだけでなく一地方公務員として、広い視野をもって専門職の視点を生かし健康づくりをすすめていること
専門職としてだけでなく事務的な仕事をかなりまかされていること
専門職としてだけの関わりだけでなく、ケースが話しやすい、声かけやすい環境を作るための場づくり、人間関係づくりを基本に関わっていること。
専門職としてデータ(健診など)を管理し、そのデータをもとに保健師活動を地域住民と予防の視点で活動しているところ
専門職としてというよりも全職(予算、支払い関係を含む)にわたって、業務にあたっていること
専門職としてのかかわりを重視し、すみなれた地域で暮らしたいという高令者を支え、経済的効果も考え合せながら活動していること
専門職としての位置
専門職としての意見
専門職としての意見や考え方を事業の参考としてほしいし、取り入れてほしい。地道な積み重ねの仕事、業務の評価はされているのか疑問がある。
専門職としての活動内容
専門職としての関わり
専門職としての関わり
専門職としての関わり
専門職としての関わり
専門職としての関わり
専門職としての関わり
専門職としての関わりからの事業(企画から評価まで)
専門職としての関わりからの評価
専門職としての企画運営
専門職としての機能、役割

専門職としての技術
専門職としての技術や事業の企画・運営能力
専門職としての技能等と事務職としての事務処理能力を兼用して求められる当課において兼用する窓口をこなしながら常に今の業務内容が一番適切か検討し問題点をさぐり関係職員に問題点を提供し問題と共有化し、適切な方法を共に考察し新しい方法を取り入れて適切に効率化した業務方法を実施したこと(常に法的根拠は確認しつつ)(上司へ相談、連絡、報告済み) 窓口での市民からの相談苦情を関係職へ処理し情報としてかえすこと
専門職としての業務と、事務的な業務とをバランスよくこなしている所
専門職としての業務の部分。
専門職としての業務よりも、職務上、立場上の業務となる為、答がむずかしい
専門職としての仕事の他に事務職の業務も行っていること
専門職としての仕事の内容
専門職としての仕事は殆んど出来ずに事務を行っていること
専門職としての仕事全て
専門職としての視点から、事業の展開、企画、運営をしているところ
専門職としての視点からの企画・運営
専門職としての視点で、介護保険の認定業務に従事していること
専門職としての視点で、事業の内容等把握して、現状で出来るベストな状況や方法を選択して、毎日の業務を行う努力をしていること。
専門職としての視点で事業の企画・運営をしている事 時代の流れに即し、一歩先を見ながら常に目標に向かって仕事をする事。後輩の育成に力を注いでいる事
専門職としての視点で住民と関わり、ニーズを掘り起こそうとしている点 適切な資源がない場合は、インフォーマルなサービスとして、自分たちが担いながら事業として取り入れようとしている点
専門職としての視点で政策立案、企画している点
専門職としての視点と事業効果の分析をしているつもりだが…。
専門職としての視点をもっており、住民の身近な存在であること。
専門職としての視点を事務に活かしていること 事務職と協同して職務を果たしていること
専門職としての視点を持ち、専門職として業務を実施しているということ。
専門職としての視点を生かし、行政及び住民の立場の両面から事業への取り組みができること
専門職としての視点を忘れず事業に携わっていること
専門職としての資質向上のための方策を考えるために関連した情報収集等に努力していること。
専門職としての事業のとりくみ
専門職としての事業の企画・運営力 地域の声を行政施策に反映していること
専門職としての自覚をもち、常に住民の立場に立った関わり、事業運営を心掛けていること、住民のセルフケア能力の向上につながる支援を心掛けていること
専門職としての自覚を持ったうえで、個々のケースに合った支援ができるよう努力していること。
専門職としての住民とのかかわり
専門職としての住民とのかかわり 教育などの事業の企画内容運営実態について
専門職としての住民とのかかわりの中で獲得した情報が、保健を離れた福祉現場で役立っている
専門職としての住民との関わり
専門職としての住民との関わり
専門職としての住民との関わり
専門職としての住民との関わり
専門職としての住民との関わり
専門職としての住民との関わり 自らサービスを受けることのできない健康度の低い人々への援助の必要性について 障害の狭間 介護保険の導入など
専門職としての住民との関わり、他機関との連携
専門職としての住民との関わり。
専門職としての住民との関わり。
専門職としての住民との関わりから、行政と住民の橋渡し役となつて、健康づくりだけでなく、大きく捉えた町づくりの企画、運営に携わっている事
専門職としての住民との関わりと、そこからわかり得る住民の生活や考えなどを、事業の企画等へ提言していくと共に、住民と共に次の展開をしていくこと
専門職としての住民との関わりとそれをさらに拡大する方向性をもっていること
専門職としての住民と関わり、そこから事業を企画・運営しようとしていること。
専門職としての住民に対するきめ細かな対応 住民からの専門職としての信頼関係
専門職としての住民の方とのかかわり、住民からの声を大切にしていること。
専門職としての住民への関わりと対応
専門職としての住民への対応
専門職としての情報収集力、分析力を高めようと努めていること。住民の声等を大切にし、事業等の評価・改善努力していること。

専門職としての専門性
専門職としての専門性
専門職としての相談業務
専門職としての相談業務等対人サービス事業に対して時間はかかるが 数としては上らない部分の評価が低い
専門職としての知識、技術
専門職としての知識、技術を持っていること、一般職とは、違うという点を理解してほしい
専門職としての知識、技術を持っていること、数種の資格があり、その点について業務が可能であること
専門職としての知識、経験を生かし、業務の運営等にかかわっていること
専門職としての知識、経験を生かし人間として尊敬されるような仕事をすれば自然と評価は良くなると思う。個人プレイでなく、保健師全体のことを念頭におき業務すること。
専門職としての知識、考え方、これまでの職務経験から得た視野
専門職としての知識・技術を持ち、そのうえで住民に接し相談、教育をおこなっている。
専門職としての知識とケースワーク。
専門職としての知識と技術、経験それを生かした仕事
専門職としての知識と行政の知識を合わせて持っているということ。その観点で業務の企画、運営を行っていること。
専門職としての知識や技術をいかした業務を行うのはもちろんですが、係長として係内の統率を回り、係員ひとりひとりの個性をいかして、人間関係にも十分配慮しながら業務を行っています。仕事は人がするものなので、係内でチームワークが良好にとれることが実績にも大きく影響すると考えています。
専門職としての知識や技術を生かし、仕事をしているのはあたりまえなので、住民に対して、どう接しているかなど。
専門職としての知識や技術を生かした業務を実施していること
専門職としての知識や経験はまだ乏しく勉強中であり、できる範囲で業務にあたっているが、基本となる市民への対応は丁寧に行っているつもりであり、早い事務処理を心がけている。
専門職としての知識や経験を生かして業務遂行の体制づくりをしていること
専門職としての知識よりも、専門以外の分野での人とのつながり、情報をもとに、事業の企画・運営に生かしていること
専門職としての知識をいかした、福祉サービスの提供をしていること。ニーズの把握 ケアプランの作成なども含めて
専門職としての知識をいかして、地区把握をしていること。
専門職としての知識をもって会議等に参加しそれを反映させるよう努力していること
専門職としての知識をもって活動していることはもちろん、対人業務であるがゆえにすぐに結果はでてこない。結果はもちろん最終目標だが、経過の部分がいかに大事かということもみてほしい
専門職としての知識を活かして、住民の健康づくりのための保健事業を企画・運営していること。
専門職としての知識を生かし、施策を打ち出し、仕事の優先順位を出し、評価していること
専門職としての知識を生かし、事業の企画や実施をしていること。住民と接した中で感じた課題を、事業改善につなげようとしていること。
専門職としての知識を生かし、住民や関係機関からの情報を基に事業の企画等していること。
専門職としての知識を生かした視点で事業を企画・運営していること
専門職としての知識を生かした事業の運営や対象事業との関わり
専門職としての知識を生かした事業を展開している中で、住民から信頼されるよう心がけていること。
専門職としての知識を生かして事業展開していること。
専門職としての知識を生かして住民と関わり、各事業の参加者のニーズに対応し、より住民のニーズに沿った内容を検討し、実施していること。
専門職としての知識を生かし町民の健康づくりの担い手であるという自覚を持ち業務を行う事はもちろん他には、行政職という一つの組織の一員として他の職員と連携し、調整しながら業務を行っている。これらの面すべてを見て評価して欲しいと願いたい。評価する側が専門職でない場合、その視点のズレはあると思う。しかし市町村という行政の中で仕事をしていく以上、組織の中の一員としてどう機能し、役割を果たしているかという点をよく勘案していただければと思う。事務職であっても専門職であっても住民へのサービスを実施するという点では同じであると思う
専門職としての知識を生かす割合が小さい。職員1人1人がレベルアップして業務に当たっているの。
専門職としての知識技術を駆使した、接遇や出会いの配慮、人間関係に主眼を置き、相手の自主性を伸ばす関わり。生活者としての各分野の情報を基に、事業企画をしていること。
専門職としての知識等を基本にしつつ、行政施策の中でそれらを活用し、施策化につなげていくこと。(…例1.に近い)「保健師」というよりも、それを活かして一公務員として仕事に従事していること
専門職としての地域づくりの視点、予防の視点
専門職としての地域住民との関わり。
専門職としての働き。
専門職としての能力(看護職+福祉職)
専門職としての能力と今後地球保健関連施策の企画立案し行政運営にかかわること
専門職としての判断で相談業務をおこなっていること
専門職としての評価
専門職としての評価 目に見えない部分で支えていること
専門職としての物事の捉え方や発想
専門職としての保健事業の企画・運営をしていること、少ない2名のスタッフ(専門職)で取組んでいること
専門職としての面接技術(広い視野でその人全体、とりまく環境も含め把握していける) タイムリーに健康に関するアドバイスができる 現場を見て、住民の声をきく機会が多いこと(事業計画をたてる時役立つ)
専門職としての面接技術、他機関との交渉能力、判断能力、研究活動
専門職としての問題のあるケース判断をしている。その意見を尊重してほしい

専門職としての問題解決能力 中堅職員としての役割
専門職としての役割を認識して仕事していること 住民とのつながりを大切にしていること。
専門職としては、評価して頂いているかと思っています。ただ保健師の業務量が増え内容的にも日々研鑽を重ねなければならぬことが多々ある中で、常勤の専門職に対する体制の不備について改善することができなかったことが残念です。小規模の自治体では、なかなか専門職を組織化することは困難。(もちろん、首長の考えも各々異なりますが)私は、専門職と事務職を兼務しており、これまで、不十分ながら村民の保健事業を広範囲に処理してきたことについては、いくらか理解して頂いていると思いますが、仕事の奥深さケース対応の困難さ、(特に精神や知的障害)連携の重要性など保健業務が社会的役割に、どのように関わり、どの部分に重要性をもたせているのかご理解頂きたい。
専門職として医療・福祉など関係職種と連携を大切にしている
専門職として医療や看護の知識だけでなく、福祉部門での実績を基に企画、運営していること
専門職として一連の地区診断 評価をしていること
専門職として介護保険事業に携わり、支援している事。
専門職として活動している部分はほとんどないので評価して欲しいところは特別思いあたりません(こんな回答で申し訳ありません)
専門職として活動している部分はほとんどないので評価して欲しいところは特別思いあたりません(こんな回答で申し訳ありません)
専門職として関わっている部分
専門職として関わり、必要なサービスを紹介、結びつけたこと。
専門職として関わりながら、共感を大事にすること。
専門職として関わりをもっていること
専門職として関わり得た情報の整理、管理、分析等及び、その情報を基にした事業企画・運営 地域の特長、住民の声やニーズを大切にしている、先見の明、将来を見透した考え方とそれを基にした事業企画・運営
専門職として関わる中でも住民の立場になっていること
専門職として関わる中でも住民の立場になっていること
専門職として機能していること
専門職として業務に携わり、その把握した情報を事業に反映させるようにしていること
専門職として業務の目的・必要性・あるべき姿を理解し周囲に伝える努力をしていること 関係機関との連携を大切にしていること
専門職として業務を行っていること。
専門職として健康の維持・増進にむけて相談を受けているところ。
専門職として見た地域を統計処理し改善しているところ
専門職として広い視野に立ち経年で事業を把握し評価し改善しながら事業を展開していること
専門職として行っている事業。法に基づき行っているが、市としての結果に対しての評価
専門職として今までの関わりなどから住民の傾向を検討し事業運営に繁栄できるよう努力していること
専門職として困っている住民の方とかかわる中でサービス調整、連携がうまくはかれた場合。(専門職しかできない訪問から得た情報から事業やサービスにつなげた場合)
専門職として根拠をもちながら業務に従事していること 業務に関連した制度等把握しながら従事していること
専門職として仕事しているが得意、不得意もあつたりするため仕事内容プラス個人としての評価を望む
専門職として仕事をしているが、事務関係の業務を主に行っていること。
専門職として支援している事への評価(数値では表わせない部分)
専門職として視点を、行政に生かす点
専門職として事業に関われる事
専門職として事業の企画・運営をしていること
専門職として事業の計画、実施、評価をしているところ
専門職として事業計画、実施、評価をしているところ。法律で定められたこと以外に地域に根ざし、必要な事業を展開していると思っているが、成果は5～10年後にしこた表われてこないであろうこと!
専門職として持っている知識、経験を生かした発言についての評価をしてほしい 対人サービスについての技術に対しての評価
専門職として住民(母子)と関わり、他機関と連携をとっている、親へのサポート
専門職として住民(要フォロー)をきちんとした医療ルートにつなげたり、関係機関と連携しフォローしていること。
専門職として住民さんと関わり、保健事業に取り組んでいる点
専門職として住民とかかわり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしている
専門職として住民とかかわり、一人一人の自己実現を支援することを大切にしていること
専門職として住民とかかわり、援助していること、又、事業の企画運営に専門職としての意見を反映させてくれること
専門職として住民とかかわり、健康づくりをともに考え、支援していること。住民各々が、頑張っていることを、確認しあい、認めていくことにより、生きがいやみいだしてもらいたいと思い活動していること
専門職として住民とかかわり、健康レベルupに努めているところ
専門職として住民として関わっている
専門職として住民として関わりそこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること
専門職として住民との関わりから、住民の声を大切にすいあげているところ
専門職として住民との関わりを通し、業務を遂行し、企画・運営を行っていること。
専門職として住民との個々の関わりやその経過

専門職として住民と関わっていく中で、住民の声を大切に、日頃の事業に生かしていこうという姿勢をもってのこと
専門職として住民と関わり、さまざまな方向から情報を分析して対処する努力をしていること
専門職として住民と関わり、そこから事業を実施している。
専門職として住民と関わり、そこから得た情報や医療■等をみながら事業の企画、運営をしている
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に運営していること
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営するよう心がけていること。
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画、運営をしていること、住民と協働で事業を運営していること
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画・運営をしていること
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画をする人たちにも意見を述べていること
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業の企画運営をしており、結果数値として評価できるまでには時間を要する。そのため、やっていることが見えにくいだけで、ヒマナ訳ではないこと。
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に事業を企画、運営する。
専門職として住民と関わり、そこから得た情報を基に住民と共に地域を考え事業の企画運営をしていくこと。
専門職として住民と関わり、各関係機関との連携等、コーディネートしていること
専門職として住民と関わり、関わった住民からの声を基に、事業を再企画、運営するところ
専門職として住民と関わり、健康についての相談やアドバイスをしていること
専門職として住民と関わり、個人、家族の対応を行いながら、ケース、家族を通して関係機関との連携を拡げている。
専門職として住民と関わり、個人、地域の健康増進につとめていること
専門職として住民と関わり、事業の企画、運営をしていること
専門職として住民と関わり、事業を行なっている所
専門職として住民と関わり、住民が健康で元気に過ごせるようにサポートしていること。
専門職として住民と関わり、住民が行動変容できるように支援していること。1人1人の住民を大事にし関わっていること
専門職として住民と関わり、住民のニーズに応じて様々なサービスを行っていること
専門職として住民と関わり、住民のニーズを大切に、事業を計画し、実施していること
専門職として住民と関わり、住民の健康の保持・増進に努めているところ
専門職として住民と関わり、住民の声を行政に生かしていく。自分自身が健康に対しての意識を高めていけるように健康教育をしていること。
専門職として住民と関わり、住民の声を施策に反映させ、またフィードバックさせるよう努めていること。
専門職として住民と関わり、住民の声を施策に反映させ、またフィードバックさせるよう努めていること。
専門職として住民と関わり、住民の声を大切に、事業を行っていること
専門職として住民と関わり、住民の声を大切にしていること
専門職として住民と関わり、住民の声を大切に考えようとしていること。そこから得た情報を事業に活かそうとしていること。
専門職として住民と関わり、人間関係をきづいている事
専門職として住民と関わり、生活にそくしたサービス提供をしていること。
専門職として住民と関わり、専門的立場で事業の企画・運営をする
専門職として住民と関わり、他機関との連絡・調整等には非常に時間も力も要しているということ→専門職以外の人には理解が得られない
専門職として住民と関わり、他職種、他機関との連携の元、住民サービスを行なっているところ。
専門職として住民と関わり、対人面へのケアを大切にしていること
専門職として住民と関わり、地域の保健活動をしていること。
専門職として住民と関わり、地域の問題を施策につなげるようにすること。
専門職として住民と関わり、地域全体を見て活動している、住民と協議しながら、地域での事業企画・運営にたずさわっている。(専門職でありながら、都合の良いように(何でもできるということ)利用されてしまう傾向に有る。)
専門職として住民と関わり、予防活動を展開していること。
専門職として住民と関わり1人1人の関係から問題解決ができるように連携を他の機関ととりながら実施していること。
専門職として住民と関わりそこから得た情報を基に事業の企画運営をしていること。住民との関わりもいざばん深いこと。
専門職として住民と関わりそこから得た情報等を基に事業の企画運営しているところ
専門職として住民と関わり各種サービスの調整役として機能していること
専門職として住民と関わり健康に関する相談なら町の保健師にしようというように、住民が安心して相談できる頼れる仕事をしているということ
専門職として住民と関わり仕事をしていること
専門職として住民と関わり支援していること
専門職として住民と関わり住民に喜ばれ、頼りにされているところ
専門職として住民と関わり住民の健康の保持・増進に貢献していること またそのための住民の声をよく知って活動していること
専門職として住民と関わり住民の声を大切にしながら、他機関等と連携し、住民の健康増進に努めていること

専門職として住民と関わり得た情報を基に事業の企画・運営をしていること
専門職として住民と関わり必要時間関係者とも連携しコーディネートすること
専門職として住民と関わる仕事をさせてほしい
専門職として住民と関わる他、地域を見ることに重点を置き、住民の声を大切にし、事業内容に少しでも取り入れられる様になっていること
専門職として住民と接し、共に考え今後のことを考えながら活動していること
専門職として住民にかかわって、グループ育成等実施していること
専門職として住民に関する事で多機関へ助言できる
専門職として住民に関わり、いろいろな情報提供、助言等をしていること
専門職として住民に関わり、それを基に事業を考えていること
専門職として住民に関わり、住民の声をとり入れた事業をしていること
専門職として住民に関わり、地域(住民の声)をくみあげてくるところ 専門職として関係機関との連携調整をスムーズにすすめているところ
専門職として住民に関わり、様々な側面からみて、対象をとらえて、行動しているところ
専門職として住民に関わり個別ケースについてはその保健福祉の向上に連携を含め対応しているところ
専門職として住民に関わる部分とそこから感じる住民の問題を提起し事業展開しようとしている職種であること
専門職として住民に接しているなかで突感をもとに事業を企画・運営したいが行政センター保健師1人の力では限界がある。
専門職として住民の声をきき、施策にむすびつけている点
専門職として住民の声をききながら、それらをもとに事業化していきたい(専門職として他の職種、特に事務職と連携し、市民の声や地域の情報を施策の中に活かしたり、結びつけていきたい)と考えているが、なかなか実現できず、トップダウン的な仕事を実施していくことに追われている。その中に少しでも専門職の視点や住民の声をいかにさせるよう努力していること。
専門職として住民の声を大切にし、また声を出さない住民に対してもニーズを把握するようにし、支援していること。
専門職として住民の相談に勤務時間外にも対応していること。
専門職として住民の側に立って、業務を行っていること
専門職として住民の方とどのようにかわり、どのような効果があがっているか、検診の受診状況、生活習慣の改善、検診の結果など
専門職として住民の方の相談に乗れること等？
専門職として住民への関わりや支援を行っているところ
専門職として住民への保健指導や相談から得た住民の意見をもとに事業という形をつくっていく地道だが大切なところ
専門職として住民や学校と関わり事業の展開、実施をしていること。高齢者の困難事例に対して医療など他機関と関わり一定の方向性で対応できていること
専門職として住民や住民組織と関わり、その中から事業を企画・運営していること
専門職として住民及び他機関との関わりで得た情報を基に事業の企画・運営をしていること
専門職として職員に関わり、活動の中で感じ得た情報を基に事業展開(企画、運営)をしていること
専門職として職員をまとめていること 施設を管理、運営するために自分とは専門外のいろんな職種の人と連携していること
専門職として専門知識をいかして住民と関わっていること。
専門職として相談業務に携わり、個の支援をおこなうとともに、各々から拾った課題を共通の問題をもつ人たちの支援に活用していくこと
専門職として相談業務を行うために配属されていること
専門職として相談業務等に関わることで、住民により良い助言や指導ができる
専門職として他の職種と連携をとりながら事業の企画・運営をしていること
専門職として他機関、他職種とも連携をとりながら個々の問題、地域の健康問題などに取り組みて成果があった時、又はそれを元にして他の場面に生かした時など
専門職として知識や技術の向上が必要だという意識を大切にしていること。
専門職として知識を個々の対象にたいねいに対応しようとしていること。
専門職として知識を生かし住民や関連機関の人と関わり、相手の声を尊重しながら、調整、運営していること。
専門職として地域に出かけていく中で得られた住民ニーズを業務の中でいかしていくこと。1つ1つの事例を大事にし、その中の問題をしほりこみながら事業全体の運営に活かしていること
専門職として地域の健康問題を捉え、その問題解決に取り組んでいるところ
専門職として地域の人と連携し、バックアップしていること 例えば、自治体自主グループやこども館など 1事例を丁寧に行う
専門職として地域の人々、連携する他職種と関わり調整してより良くするためにはどうしたらいいか前向きに考えていけること
専門職として地域の人々と関わっているところ。地域を大切に思い日々活動しているところ。
専門職として地域を見る観点
専門職として地域看護を行っていること
専門職として地域住民との対話を大切にして地域住民の健康の足しになればと考えている
専門職として地域住民と接し、個々のケースに対応を常に行っていること。予防や悪化予防のための事業を企画し、今后実施することの効果など。
専門職として地域住民に働きかけ、効果を上げるための困難さを評価してほしい
専門職として地域住民のニーズを把握し関係機関や職場の他課や他職種との連絡会を開催している。定期的な開催にすることによりタイムリーに問題解決につないでいる。

専門職として町の健康問題を見極めよりよい支援体制づくりや保健事業の企画運営をしていること。
専門職として直接住民と関わり現場で活動している者の視点
専門職として働いているのはもちろん、どこもやりたがらないようなこともケースのためと考えれば、地道にコツコツとやっているところも評価して欲しいと思います。
専門職として内部で、協力し合い、よりよい活動にむけて取りくんでいるPHN同志の姿勢について
専門職として配置されているため、専門的な業務をタイムリーに遂行できるように、業務状況を上司が把握してほしい。
専門職として発揮すべき仕事と業務をわけてほしい。係に事務職がないためすべてやらなければいけないが上司に訴えても理解されない。
専門職として判断するよう心がけていること。住民の立場でサービス提供できるよう心がけていること。
専門職として必要な事業を企画、実施していること
専門職として保健業務に関ってきたところ
専門職として保健事業を展開することで、住民の健康増進に寄与できるよう努めていること。
専門職として保健事業を展開することで、住民の健康増進に寄与できるよう努めていること。
専門職として様々な事業を展開していること
専門職として住民と関わり、そこから事業の展開や運営をしていること。住民の思いや考えを大事にしていること。
専門職として住民と関わり、個を大切にしたいHV、支援、相談にのっていること。
専門職として住民と関わりを持ち、生の声を活かした事業の企画・運営をしていること
専門職と事務職両方への仕事に目をおしていくことがとても大変な仕事であると思っている
専門職と連携をとりながら、母子保健事業を運営していること 住民の声を大切にしていること
専門職にありがちな「どうしてそんなことが分からないの?」「どうしてできないの?」といった態度をとらないよう注意し、住民や対象者の立場にできるだけ配慮した対応をしている点。
専門職の一人である自分が地域にできるだけ出て、住民と接し、住民の生活を把握しようとしていること
専門職の視点から市全体の健康づくり体制の構築に向け、事業の企画・運営をしていること
専門職の視点から住民に保健福祉に関するサービスを提供
専門職の視点で働きかけている業務に対して、数(実績数)ではなく、内容をみてほしい
専門職の視点を持った対応、企画等
専門職の社会的地位を確立させたいと考えており、具現化させたいと思っていること
専門職の知識と経験を生かした住民との接点、実践をしていること。その実践を通しての事業の企画・運営を考えていること
専門職の知識と住民の声を共に生かす活動
専門職の知識や技術を活かして、今こまっている人の話を聞いてその解決と一緒に考えていき、解決できるよう支援していくところ
専門職の知識を生かし、住民の健康度向上のため努力していること
専門職の知識を生かした業務
専門職の知識を生かして、事業運営していること
専門職の部分とただの事務とは違うと人事の人にわかって欲しい。
専門職の分野がもっとしたい(事務作業が多すぎる)
専門職を生かした住民との関わり
専門職以外の他の行政職との情報交換を大切にし、市全体の各種計画、国の動向など広い視野で考える努力をしていること
専門職及び行政職として住民に関わり企画・運営を進めるにあたり部下及び関係機関等との調整に労をおさずトラブルを最初限にして進めていること
専門職種として、地域住民とかかわりそこから得た住民の声、統計情報等を事業の運営にいかしていること、他職種(関係)との連携、調整能力を発揮しながら仕事をしているところ
専門職能と行政職能をあわせもって相乗効果として事業を創出していること。
専門性
専門性
専門性、感染症専任としての専門性 感染症専任としてみた地域への視点
専門性の発揮
専門性をいかした街づくりの視点をもっているところ
専門性を活かし、住民の声を基に地域全体の健康づくりのための事業を企画、運営している事について。
専門性を活かし、地区組織等と連携しながら事業を行っていること。
専門性を生かし、住民サイドにたつた地域保健活動をしていく。
専門性を生かし、調整役として、新しい事業の企画や働きやすい職場環境を整え、より質の高い介護現場を作るための職員教育の機会を作ったり、評価している点
専門性を生かし、提案、発言している事
専門性を生かした業務 地域住民、市民等に対して見る視点とサービスがちがうと思う
専門性を生かした視点で全ての仕事をしているところ 人の意見に耳を傾けることができるノウハウ
専門性を生かした事業の企画や運営ができること



専門性を生かした地域住民との関わり
専門性を生かして、市民、地区組織等と関わっているところ
専門性を生かして業務に取り組んでいるところ
専門性を生かして事業企画、立案していること
専門性を生かして住民に関わる
専門性を生かし住民と直接関わり、事業化しているところ
専門性を生かし住民にとって有益な事業の立案、展開をしているところ 個々のケースに必要な援助活動ができること
専門性を発揮しながら、自区の事業を他の行政職と協力しながら実施しているところ
専門知識からはじまり、生活方法や知恵などマルチな知識を活用して仕事をしていること
専門知識に基づくケースワーク(結果のみでなく、経過、判断、根拠)
専門知識や、介護予防の観点から住民の相談にのれること
専門知識をいかし、住民と関わるなかで事業を企画運営していること
専門知識をもったうえでの管理職としての働き
専門知識をもとに関係機関と連携をとりながら個への関わりを大切にし、問題解決を図っている点。
専門知識をもとに業務を行ない、すすめていること。
専門知識を持って、業務をしていること。
専門知識を生かしたカウンセリング能力、指導能力
専門知識を生かした活動における迅速な対応や1つ1つの相談業務を大切にし相手の立場に立って、共に考えようとする姿勢
専門知識を生かした関わりをしていること
専門知識を生かした事業企画、運営、ケース個別のアセスメント能力、ニーズのとらえ方、社会資源の活用について。
専門知識を生かした住民とのかかわり。
専門知識を生かした保健指導 訪問指導の陰の苦労
専門知識を生かして、事業の企画・運営をしていること、数値化できない住民との関わりについて(関わりの質について)
専門知識を生かして、保育所保健の向上に努めていること。
専門知識を生かしながら、地区組織や地区住民と直接かかわり、サービスを調整したり、問題を解決していくことと、それらの現象をとらえ事業計画に結びつけていくこと。
専門知識を生かし教室運営の質をより高質なものにし、参加する方の満足度を高めるよう配慮していること
専門的な業務以外に事務職として事務に徹していること
専門的な視点から考え、長期的な見とおしのもとに事業の展開を考えていること
専門的な視点から村民の健康課題を把握し、対応策を企画して解決に努力していること
専門的な視点をもっていること。そこから想定される事柄に対して、専門性を生かした展開ができること。
専門的な知意を対象(主に住民)に分かりやすく、媒体や言葉づかいで説明しているところ。
専門的な知識をいかして住民と関わり、行政職の中で、最も住民に近い存在であるべき職種であるということ
専門的な知識をもって、住民に対してよかれと思うことができたとき
専門的な知識を持ち、住民と関わっている。時には家族の問題と直面することがある。
専門的な知識を生かし、個人へかかわっていること。教育や、相談についても、企画についても情報収集から判断までいろんな角度や協力を得て行っていること
専門的な知識を生かした住民からの相談への助言をしていること。
専門的な知識を生かして、行う判断、活動と事業の運営に関する多くの事務的な業務の両方を、行っていくこと(視点)
専門的な知識を生かして事業の企画、運営をしていること 住民と接する機会を大切に声をひろって事業に生かすよう工夫すること
専門的な知識を生かして地域住民へ関わっていること 私たちの仕事は、効果が即刻見えないものもあるが、経過をみて欲しい
専門的な知識を生かしながらも、個々の住民にあった情報をえらんで提供したり、しながら仕事をするよう心がけていること
専門的な知識を用い
専門的技術や知識を現場に一方的に押しつけるのではなく、現場の状況・声をとり入れながら相手(両方)によりよい方法を考えて実施するよう心がけていること。
専門的視野
専門的知識、視点を持ち相談業務を行っていること。
専門的知識にもとづき、事業を実施するとともに、他の職種の考えもとり入れながら業務を行っていること
専門的知識をいかし、一生懸命、頑張って、保健事業にとりこんでいる点
専門的知識を生かして住民と深く接し、住民の真の気持ちをひき出すことができる専門職であること
専門的知識を生かして対象とかかわり、問題解決の方向性を見いだす それに向かって活動する
専門的判断
専門分野でない保育を日々勉強している点

専門分野で住民サービス(訪問等)を行い各機関と連携をとりチーム・組織として業務を行うことを優先していること。
専門分野の関わり
専門分野を生かして住民と関わりしていること
専門領域をもちエキスパートとして判断し多くの機関と連携をもち、活動しているところ
潜在的なニーズや予防的な視点から対応を行なっていること
前職(看護師)やその他の資格(助産師や精神保健福祉士など)取得の際に得た専門知識を住民サービスに生かす努力をしているところ
前任者が事務職だったので、今年度から、保健師の専門性を生かして、業務にあたりたいと努力しているところ
前年引きつがれた健康教育の企画をほぼ1人で実施している。実施した結果の声は、満足度の高かった声が寄せられてホッとしている。
前年度2人の職員で行ってきた業務を一人で企画・運営、報告している。(更に補助金に関する業務であることから、それに関する事務量も増えている。事務的な業務に時間がかかることはどうにかしてほしいと考えるが、)法律に基いた企画ができ、実施した後の報告や支払い等、一連の流れで仕事ができるのは自分にとっては今までにはない活動の仕方である。
前年度の情報、住民の要望を生かした事業の企画、運営をこころがけていること
前年度の反省点を改善し、修正した事業を展開している点、次年度に向けても同様の視点で業務を見直すようにしているところ
全て
全て。(良い評価も悪い評価も含む)(正しい視点をもっている人に評価してほしい。)
全体
全体をとらしてアドバイスがほしい
一般的に自分で評価していけば、人からの評価は、とくになし
全部
組織の一員として、自分の役割を柔軟に考え、他職種と連携して業務をすすめていること。投げ出さず、やりぬく態度と平常心。
組織の上部は市町村合併や、産業関係に、目を向けがちで、保健、福祉などソフト面については、手薄になっているように思う。健康あつての事業ということを知ってほしい。人の問題など。
組織の枠組みにこだわらずに仕事をしたい、根拠に基づく事業をしたいと考えていること。(しかしなかなか実践に結びつきません。) 予算消化のための仕事ではなく、本当に必要な仕事をしたい
創意工夫をすするところ
早期にかかわる予防的な事業をしている
相手(住民)の立場に立ってサービスを考えられる様に住民の声を大切にしている
相手が何を求めているのかを考え、要求に応じた的確に支援するようにしていること
相手が納得行くまで話に応じている所 周囲の状況に合わせて動こうと努力している所
相手の思いをよく聴き、一緒に考えていこうとすするところ
相手の身になって相談援助を行っているところ
相手の生活、地域をみて考えながら全体をコーディネートすること。個人として把握しながら地域をマスを捉え援助すること。
相手の様子に合わせて1つ1つの事例に丁寧にとり組んでいること
相手の立場から物事を考える視点を大切にしている所
相手の立場だったらどう思うかと考えて仕事をしているところ
相手の立場にたつて考えようとするところ
相手の立場を尊重し、信頼関係を大切にしていること
相手の話を傾聴することに努めているところ。
相手の話を良く聞こうとするところ
相談、サービス利用申請 調整 事務手続まで一貫して提供されているところ
相談・訴えなど電話、面接等でとられる時間が長くなり、数的な数字でなく、内容をみて対応している質的なものをみてほしい
相談してよかったと思われるように努力しているところ
相談など実際に目でみて効果がわからない仕事が多いこと
相談や援助等についてできる限り利用者(相談者)の意を尊重し、ていねいに関わりをもっているところ。人によって対応が違わないこと(誰に対しても同じように接しているつもりです)
相談や関係機関とのコーディネートという目に見えたり、直接的でなかったりする業務が主となるため、周囲からの理解、評価をしてもらいにくい点があるのでそこを評価してほしい
相談をうけたらすぐ動く、町内であれば必ず訪問するなど確かな情報で動く、最後まで責任をもって支援する点。
相談関係＝人間関係を基盤にした精神的エネルギーを注ぎながら、援助活動を行なっていること。保健師業務の専門性が、数字にしにくいところ
相談業務が多いことから、受容、傾聴に心がけていること。相談業務が多いことから、係内での連携を大切にしていること。
相談業務では住民が求めている解決にむけて専門職としての支援をしていること
相談業務で得た情報や住民の声を大切に、事業の企画や運営を考慮して実施していること。
相談業務とは、話を聞いているだけでなく、保健や医療・福祉の総合的・専門的立場から適切な助言・指導であること
相談業務とは、話を聞いているだけでなく、保健や医療・福祉の総合的・専門的立場から適切な助言・指導であること。
相談業務に必要な保健・福祉等の情報を集め、利用しやすいよう、整理し、活用しているところ
相談業務の大切さ。

相談業務等みたく目でわかりにくかったり、数字で結果がわかりにくい仕事
相談件数の数ではなく、住民の立場になって親身に相談にのれているかどうか、その対応について評価してほしい。
相談件数や訪問件数等の数字のみでなくケースとの経過内容についても目を向けてほしい
相談事業など効果など目に見えにくい部分について
相談事例への対応について、改善できるよう最大限の努力、かかわりしているところ。
相談時、ケース及び、周囲の立場に立って、考えている
相談者（住民）の相談内容をきき、対応する姿勢
相談者、来所者に対して用件のみではなく生活状況等から、専門職としてのアドバイスをプラスするように心がけていること。
相談者にタイムリーに対応 できる点、できた時は評価してほしい
相談者に対して、優位に立たずに対応しているところ
相談者に対する援助方法 事業に対する取り組み方
相談者のニーズをくみとり適切なアドバイスができること
相談者の気持ちを配慮して相談内容に対応しているところ
相談者の決断・実行を促す介入のための予測と判断 選択肢の提供 関係機関との調整
相談者の側に立って、相談を受け、援助していること 他職種へ積極的に働きかけて連携をつくり活動していること 住民の声を事業へとつなげる活動をしていること
相談者の話を聞き、アセスメントを自分なりにして 上司に相談し、対応を考えるようにしていること
相談者や住民の立場にたって一緒に考えていきたい学んでいきたい
相談等住民と関わっている中で声を生かし、事業の企画運営をしている
窓口、Tel、訪問など、対人対応で親身になって相談に応じるよう努力しているところ。住民側に立って考えようと努力しているところ。
窓口での住民対応の場において、住民の方が満足して帰っていただけるよう（EX、役場に相談にきてよかった等）感じていただけるようにしている。
窓口での相談業務だけでなく、高齢者が安心して生活していけるように地域の中でのネットワーク作りに取り組んでいるところ
窓口で事務的に申請を受理するだけでなく今までの経験をできるだけ生かし相談、指導を行うこと 調査、訪問等で、できるだけ現場の状況を把握しケアマネやサービス担当者と連携をとることで生の声を大切にすること
窓口に来た住民に対し、誠意を持って対応しているところ。
窓口業務を担当しているが、保健、福祉業務経験から得た情報と技術で総合的な、相談業務を行っていること。
窓口事務等で、ただ事務を受付、処理するだけでなく、訴えてこないからよしとせず、訴えてみよう話してみようという形になるよう仕事をしている
窓口対応 市民との関わりを大切にしたいし、できるだけ多くの情報を提供したいと心がけている事
総合調整を回り、事業の企画、運営、困難事例の対処を行なうこと。
総合的な健康施策に関わっていることを評価してほしい
総合的な視野（保健分野のみでなく）をもって、同職種と協同で住民本位の仕事を目ざしているところ
総合的にみても評価でよい
他に専門職がいなく一人職種としての大変さ
他に評価してほしいと思うことはあまりない
他の（県で開くものでなく）研修で参加し、そこから実戦する所までやり、地区の見方を習得したこと
他の機関から困難事例の相談を受けた際一緒に問題解決に向けて検討すること。
他の機関との連携、調整にかけている時間
他の職種との連携やかかわりもちながら、日々の業務を行っていること。
他の職種と情報交換・連携をしてケースの支援をしていること。また、必要時、関係職種を兼ね、ケース検討会をしていること。
他の職種や機関での役割にあてはまらないことを、表面には出てこないが、果たしていることが多いこと。
他の専門職（広い視野で）とともに実施する事業につとめていること
他の専門職と一緒に仕事をしているので、保健師としての専門性（日常の業務を記録整理し、評価した事柄から問題点として挙げていく力がある職種であること）
他課、部署との連絡、調整、協力により関係を良好とし新事業を、スムーズにすめられるところ
他課との接点のところ、又は重複しがちで役割分担するとうまくいくところがあるが縦割りでしかできない状況がある。専門職の仕事の理解が欲しい
他課や他機関との連携を大切に考え、互いに協力し合えるよう努力しているところ。
他機関、他職種と連携を回りながら（必要時調整会議等実施しながら）ケースの支援をしたり事業を実施していること
他機関からの困難事例の相談を受け、連携をはかり返していく。また、自助グループ等の支援をし、講演会等、企画している。
他機関との連携
他機関との連携を積極的にはかっていること。
他機関との連携を大切にしているところ
他機関との連携を大切にしながら、1つ1つ着実に仕事を進めていっていること
他機関と連携・協力しながら住民サービスを実施していること

他機関と連携し、ケースワーク業務を円滑に行うこと
他機関と連携しうまくケースワークをしている事
他機関と連携して行う業務が主なので 連絡をとるだけでも時間がかかるという部分(いっけん、連絡をとるためだけであれば単時間ですが、複数の相手と日程調整するだけでも時間がかかること)
他機関と連携をして事業等を展開しているところ
他機関と連携をとりながら業務を円滑にすすめていく点
他機関のいろいろな職種の方と、できる限り連携をしようとしている。
他機関や住民と連携し、事業内容の充実を図っていること。
他職をまきこんで、連携をとった上で、一つの事業を作り上げる事、常に住民第一の気持ちを持って業務を行っている
他職種・住民との連携
他職種からPHNの予防的な活動を評価してもらいたい
他職種とかかわりをもとと努力しているところ
他職種との協働で、住民の声を生かした事業に取組もうとする姿勢
他職種との連携、後方支援についても評価してほしいと思う。
他職種との連携に前向きにとりくむこと
他職種との連携の必要な業務であり、連携の必要性を感じ協力を得て会議を開いていること 必要な情報を入手し、提供して出席者の意見を共通理解にしていること
他職種との連携をもとに個ケースへの関わりを行なっていること
他職種との連携を大切にしたいチームアプローチ。(を目指していること)
他職種との連携を大切にしていること
他職種と連携し、コーディネートしていること
他職種と連携しながら一人一人の生活、生き方を支援していること。(全体だけではなく個人個人との関わりも大切にしている)
他職種の人たちが仕事が遂行しやすいように 連絡や調整を密に行っているところ。
他職種の中に配置されているため、保健師の仕事や役割についてよく理解してもらいたい。なるべく意識して仕事をしているが…。
他職種や、事業所との連携とそのネットワークを個別事例へ生かすこと。
他職種や機関との連携を大切に仕事をしている
他職種や地域住民との連携を行なった企画・運営している点
他人は自分のことをどう評価するか…より、自分自身の中で、事務的な業務から、対人サービスまで、“納得”できる仕事の仕方を心がけている。他人を「評価」など、まして評価を気にして仕事はしていない。1人1人を受け止め、何ができ、何ができないか、評価より協議しながら業務をすすめている。
他部署、他職種との連携を密にしているところ
多くの住民と会い、住民と沢山話をする中で、今、求められている事などを考えていくこと、新しい知識をできるだけ吸収していくところ
多くの情報をつめ、お知らせしたり、業務の企画や指導をしている(コーディネーター) 対人関係を大切にしていること
多すぎる業務量をこなすので精一杯です
多岐にわたる分野の知識を得て、住民との関わりの中で活用し、実施しているところ。
多数の住民の声を深くキャッチしており、それを基につねに新しい事業の企画、運営を考え出し実施しようとしていること。
多問題家族等の困難事例を他機関とも連携しながら支援していること
多様なケースに関わり、相談事業を行っていること。そこから事業の見直し、改善を考えていくこと。
多様なニーズや相談に対応するため、日頃から情報を集めていること
多様な問題のある事例の対応のためさまざまな職種と連携を持ち住民と関わっているところ
対応した住民や地域の民生委員からの評価
対応困難な事例に対し、各種関係機関(者)と連携をとり、ケースの生活支援を行っていること。
対応困難事例等の訪問指導等には1事例に費やす時間が回数が多い(家族内調整、関係機関調整など)また労力も使うが、記録、報告のみでは複雑さを理解してもらいづらい。
対応時、住民の立場にたっていること。
対住民との面接、ニーズ把握、ケア計画、ケア会議等、障害者支援に関わる内容は、時間がかかる、経路が長いという点。
対象となる住民に、丁寧に誠実に接していること。
対象の1人1人を大切にしているところ
対象の方の視点に立とうとすること
対象の話を十分に聞くようにしているところ
対象者、1人1人のニーズを把握して個々にあった、現状で可能な限りの対応をしていること
対象者、地域の問題を総合的に考えていること
対象者が、自ら気づくことにより、気持ちや行動を変えていくという点において、気づきを促す関わりを意識して行っていること
対象者が満足して生活でき、日々過ごしていくよう援助できれば、保健師自身の評価は必ずしも必要ではないと思う。評価は日々の積みかさねでついてくと思う。
対象者とゆっくりむき合う